

## 令和4年度防災分科会訓練を実施しました。



向かって左が浦井  
会長で右が片野副  
会長です。



参加者のみなさんです。



第4分団のみなさんです。



応急給水栓の機材です。



給水栓に接続します。



蛇口を取付けます。



耐震性貯水槽からポンプアップして給水します。100 m<sup>3</sup>の飲料水が確保できます。

早川地区は、海・山・河川がある地域で、日頃より防災に対する意識が高い自治体です。

広域避難場所は、早川小学校に設定されており、防災倉庫及び備蓄倉庫を備え、毎年防災訓練を実施して多くの関係者の参加をいただいています。防災リーダーは、自治体毎に委任され、事務局と共に組織を構成して、関連組織との連絡等の密を図り活動を展開しています。

応急給水栓&耐震性貯水槽の取り扱い訓練は、年一回実施を数年継続しており、「まちづくり委員会」を始め、小田原市地域政策課・小田原市防災対策課・配備職員・消防団及び当該地域（自治体）世帯が参加しています。災害発生時のライフライン確保は特に重要なものと位置づけ、有事の際は連携を持って対応出来るように心掛けています。

早川地区まちづくり委員会

防災分科会会長 浦井 仁

（東組防災リーダー）

## 10月23日（日）市内いっせい防災訓練を実施しました。

大規模地震（相模トラフ沿いのマグニチュード8.7、震度7）発生を想定し、津波に備えた避難訓練と早川小学校広域避難所の設営から避難者の受け入れまでの作業手順を確立することを目的に大掛かりな防災訓練が開催されました。

当日は、8:30に防災無線からの合図で各家庭での「シェイクアウト訓練」に始まり8:45には、各地区ごとに一時避難場所に避難しました。また、みなと自治会では、初の試みとして津波避難ビルに指定されている「小田原水産合同庁舎」の屋上を一時避難場所として参加者全員で屋上まで上りました。その後は、各地区早川小学校に移動して「広域避難所開設作業」を手分けして行いました。

作業分担として作業総括担当、施設点検担当、受付担当、避難所受入担当、避難者誘導担当、救急介護担当、給水担当などに別れ活動しました。

全体訓練終了後には、個別訓練としてパーティション組立て訓練、トイレ組立て訓練、炊出準備訓練、投光器設置訓練なども行われました。

参加人数内訳（自治会役員38名、防災リーダー5名、消防団員9名、民生児童委員4名、早川小学校1名、配備職員8名、地域参加者123名、総合計：188名

広報分科会長：富樫栄広



小田原水産合同庁舎を一時避難場所としました。



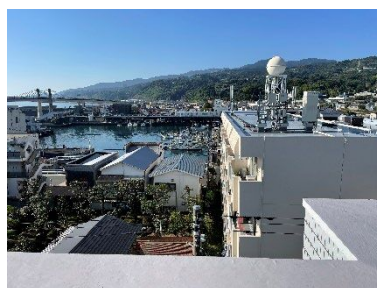
参加者全員で屋上に上りました。



外階段で屋上へ上りました。



屋上の海拔は、20mです。



屋上から港を望む



屋上は、意外と広い



協連会会長からのご挨拶



受付設置訓練



受付後の各地待機場所



パーティション設置訓練



同左



トイレ組立て訓練



炊出し準備訓練



同左



同上



投光器設置訓練



給水担当訓練



## 9月25日（日）防災倉庫廻り草刈り作業を実施しました。

防災訓練に向けて地域交流分科会所属の団体に協力して頂き防災倉庫廻りの草刈り作業を実施しました。



防災倉庫への動線が雑草に覆われていた。



防災倉庫への通路が綺麗になりました。



防災倉庫廻りが綺麗になりました。

# ～夏休みラジオ体操を開催して～

私たちの生活はコロナ感染予防のためにすっかり変わり、春の時点で今年も、子ども会キャンプやスポーツ合宿等がなくなり、学校プール開放や家族旅行が予定できない、子ども達が人に会わない夏休みになるのかもしれないと想像をしました。早川スクコミも従来の行事が思うようにできません。そんな中、「朝のラジオ体操」を思いつき、まちづくり委員会地域交流分科会で「夏休みにラジオ体操を企画したいので協力をお願い出来ませんか」と相談をしたところ、早川小PTA、早川おやじの会「一寸奉仕」、早川体育振興会、早川子ども会の皆さんが団体として協力をして下さることになりました。

夏休みの初めと終わりの一週間ずつ、朝 6:30 のラジオ放送に合わせて早川小グラウンドでの実施としました。5回以上参加の子どもには図書カード進呈です。ラジオ体操講習会（講師は一級ラジオ体操指導士の佐川幸司氏）で正確な体操を習って大人も少し自信を持って迎えた初日 7月 21 日、35 名の子どもと 20 名以上の大人が集まりました。「図書カードの効果は絶大」「早起きして来る子がこんなにいるのか～早川の子はなかなかすごい！」と大人は思いました。（実は、くくる日もくる日も係だけで体操をする…>というコワ～い想像をしていた自分ですが、子ども達が連日参加してくれて、大人もやりがいを感じ、健康に良い上に、地域交流にもなってよかったな、とふり返っています）

最後になりますが、関係団体のご協力と早川地区自治会連合からの協賛に感謝しますとともに、学校近隣にお住いの皆様には開催へのご理解をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

地域交流分科会事業 地域交流分科会 青木理加  
（早川スクールコミュニティー副代表）



事前に「一級ラジオ体操指導士」の佐川先生をお招きして講習会を開催しました。



参加者には参加賞を配りました。



期間中、佐川先生も何度か来ていただきました。

編集後記

新型コロナウイルス感染者が増え始めなかなか事業が予定通り開催出来ない状況がまだまだ続きますが1日も早くコロナが終息し例年通り各種事業が通常開催出来ることを願うばかりです。

広報分科会長：富樫栄広